

ヤマシャクヤク

ヤマシャクヤク（山芍薬）は本州、四国、九州および朝鮮半島に分布し、山地や低山の林床に生える野生のシャクヤクです。ヤマシャクヤク（学名：Paeonia japonica）は高さが40～50cmほどの多年草でかつてはアイヌ民族に薬草として珍重されたほか、その美しさから同属のベニバナヤマシャクヤク（紅花山芍薬）とともに盗掘や森林開発などもあって自生地が減少、環境省のレッドデータブックで準絶滅危惧種に指定され、道内でも希少種となっています。地下に塊根をもち、春に発芽すると、ふたまたに分かれた葉に包まれるように蕾を伸ばしていきます。葉が開いたのち、白い花を1茎に1輪、上向きに咲かせます。花は5cm前後で、白い花弁に黄色の葯がとてもよく目立ち、満開でも花は球形のままでコロコロとかわいらしいのですが短命で2～3日で散ってしまいます。花後に結実すると果

今月の便り



Paeonia japonica

実が次第に大きくなり、夏の暑いころに割れて中の種子がはじけます。この種子は完熟のものは黒く、不稔のものは赤く色づきます。ベニバナヤマシャクヤク（紅花山芍薬）は、ピンク色の花を咲かせる品種で白花のヤマシャクヤク（山芍薬）よりも1か月ほど遅れて開花すること、葉裏に細かい毛が生える点などの違いがあり、またヤマシャクヤクよりも高い所に自生します。こちらは北海道でも絶滅危惧種に指定されています。（いとう）

クレマチス豆知識

多彩な園芸品種のクレマチスは、北半球の中心に約300種の実種があります。そのうち3分の1が中国にあり、日本にも約20種の実種が自生しています。江戸時代末期、シーボルトによって日本原産のカザグルマと中国原産のテッセンがヨーロッパに紹介され、これらが交配親となり、多彩な園芸品種が作出されました。冬に地上部が枯れ、春に伸びた新枝に花がつく「新枝咲」、前年に伸びた枝から出た新枝に花がつく「新旧両枝咲」は四季咲きに分類され、どちらも伸びた枝を切り戻すと1～1.5ヶ月で再び開花を楽しめます。エネルギーを蓄積して、1年に1度咲くタイプは殆どが花後に伸びた枝に翌年新芽が伸びて開花します。花付きの場合は3年生

苗が多く、安心して選択出来ます。花のついてない苗は、購入後は根を崩さぬよう一回り大きな鉢に植え替えて育てます。クレマチスは広い場所がなくても育ち、ビギナーさんにも安心の花です。育て方は「植える」「枝を伸ばして咲かせる」「切る」の3ステップ。ポイント①水やりは、表面の土が乾いてからたっぷり②肥料は苗を植える時ゆっくり効く有機質系か緩効性肥料を施す。③クレマチスはある程度伸びてから花を咲かせるので支柱などで上方向に誘引します。④伸びて開花が終わったら枝の半分を切ると2回目の開花を楽しむ品種も多くあります。母の日ギフトには、園芸店で開花株などが喜ばれています。品種系統選びは北国ならではの事もあるので緑の相談コーナーにお問い合わせ下さい。(たかはし)

米ぬか

相談コーナーに米ぬかを畑に撒いて良いか？という質問がきました。結論としては、確かに緩やかに効く肥料にはなりますが、家庭菜園で使う時は堆肥に積み込む使い方がおすすめです。米ぬかは味を良くするなどと言われますが、実は直接畑に蒔く方法は病害の危険も伴うのです。肥料法では米ぬかは特殊肥料の一種で、成分としてはリン酸が多めのゆっくり効く肥料です。ただ、発酵されていない生の有機物なのでタンパク質や糖分も多く、畑に直播するとそれらが好物であるすべての菌や土壌生物が畑に増殖します。特に糸状菌が増えますので、糸状菌が原因で起こる萎凋病（いちょうびょう）やつる割れ病、根腐れ病、立ち枯れ病など様々な病気が起こりやすくなる可能性があります。菜園作りを勉強中で不安がある人は完熟させた堆肥や肥料を使うことをお勧めします。(きのした)

堆肥

家庭菜園を始める時、まず湿った土の色を見てください。黒っぽくなければ腐食の少ない土の可能性があります。堆肥を入れて野菜作りに適した腐食の多い土にしてください。堆肥には植物の生育に必要な窒素、リン酸、カリウム、カルシウム、マグネシウムだけでなく、鉄、亜鉛、銅、マンガン、ホウ素など、少しだけ必要な元素も含まれていて、それらは、生理障害やら病害虫に強い美味しい野菜作りの手助けになります。また堆肥を入れてよく耕すと粘土の多い塊がちな土を土壌生物が活躍しやすい構造にしてくれます。そうなればしめたもの。土壌生物達が有機物を分解して植物が栄養として取り込める形態にしてくれるのです。堆肥を購入する時は堆肥成分表示のC/N比を気にかけてください。おおまかな基準ですが、C/N比が10以下だと入れた年の肥料効果は高まるけれど、次の年に土壌の有機物が増えることはありません。

C/N比が10～20の範囲を使い続けると、つぎの年から土壌有機物含量が高まります。この範囲が使いやすいと思います。C/N比が20以上になると土壌有機物はどんどん増えますが、堆肥と同時に窒素肥料をしっかり入れないと逆に窒素飢餓を起こして植物の育ちが悪くなることがあります。土の中の腐植が充分に増えるほど土は黒みがある褐色になっているので雨などで湿っている時に色や握った時の硬さを確認してください。(きのした)



ひとつき ひとバラ



文： 曾 根 浩 太
(いわみざわ公園バラ園)



今年の春は寒い日が多く、バラもかなりゆっくりと開花に向かっているような印象です。だからといってゆっくり仕事をしていいわけでもなく、バラ園では毎日皆さんを迎える準備をしております。今回はローズシナクティフを紹介いたします。ローズシナクティフは当園では整形形式に植栽されています。大輪の青系のバラで、フリルのように切れ込みの入った花弁が可愛いロゼット咲きのバラです。花色はモープ色と表現されており、薄くグレーがった紫色になります。葉っぱはいかにも耐病性が高そうな照葉です。無農薬に耐えられる耐病性を持っていますが、全くかからないということではなく、黒点病で半分くらいは葉を落としてしまいます。可愛い花とは違い、樹形はかなり無骨な感じです。枝も固く太く、デルバールジャパンのホームページではショートクライマーとなっておりますが当園ではどちらかというと横張りする樹形となっております。剪定時には鉛筆程度の太さで切り詰めるとしっかりと大きな花を咲かせることができます。花は見た目、だけではなく香りもいいのが特徴です。パリ・バガデル国際バラコンクールでベスト

第二百二十六回

ハイブリッドティーローズ

ローズシナクティフ

Rose Synactif

作出国：フランス

作出者：Georges Delbard

作出年：1999 年

ハーディネスゾーン：不明

繰返し咲き

交雑：Centenaire de Lourdes® ×

Commandant Cousteau

フレグランス賞、越後丘陵公園 第2回 国際香りのばら新品種コンクールで金賞を受賞しております。その際に「上品な甘さとウディノートのあるブルー系の香り」と評されたそうです。このバラは資生堂とデルバールのコラボレーションで作出されたバラになり、資生堂の高級ブランドクレ・ド・ポー ボーテのオードパルファム " ローズシネルジック " はこのバラに導かれて誕生したそうです。現在香水の名前は「ローズシナクティフ」となっております。バラの名前も最初は「エモーションブルー」という名前だったのですが、次に「ローズシネルジック」そして現在は「ローズシナクティフ」と香水の名前に合わせて変化いたしました。バラは同じバラでも国によって紹介される名前が違ふこともあり、別名を複数持っているバラも珍しくありませんが、厳密に名前が変化した、という品種はあまり聞かないような気がします。高級ブランドの香水になるような香り高いローズシナクティフ、当園は無農薬で栽培しておりますので鼻がくっつくくらい近づいてかいても大丈夫です。これから花盛りになるバラ園へぜひお越しください。

いわみざわローズフェスタ

Iwamizawa Rose Festa

2025



6/21 (土) ~ 7/13 (日)

今月の市民園芸講座のご案内

これは面白い!



- 6月21日(土) 10:00~12:00 ばらゼミ④
参加費: 無料 定員: 40名 講師: バラ園スタッフ
- 6月22日(日) 10:00~12:00 バラの美しい写真の写し方
参加費: 無料 定員: 20名 講師: 河野 芳廣 さん
- 6月28日(土) 10:00~12:00 バラ管理スタッフのローズツアー
参加費: 無料 定員: 40名 講師: バラ園スタッフ
- 6月28日(土) 13:00~15:00 バラ園のバラを使ったアレンジメント
材料費: 2,000円 定員: 20名 講師: 大和田 由紀子 さん
- 6月29日(日) 10:00~12:00 バラ園でスケッチしよう
参加費: 無料 定員 15名 講師: 藤川 志朗 さん

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。

電話: 0126-25-6111 ホームページ: <https://iwamizawa-park.com/>

※資料をご用意の都合上、なるべく事前のお申し込みをお願いいたします。

連絡なしの欠席・遅刻はお申し込みをしたい方のご迷惑となりますのでご遠慮ください。

※材料費のかかる講座は、講師の準備等の都合上、開催日3~4日位前までに
お申し込みをお願いいたします。

※換気の為、扉・窓等を開放いたします。悪天の際は暖かい格好でお越しください。